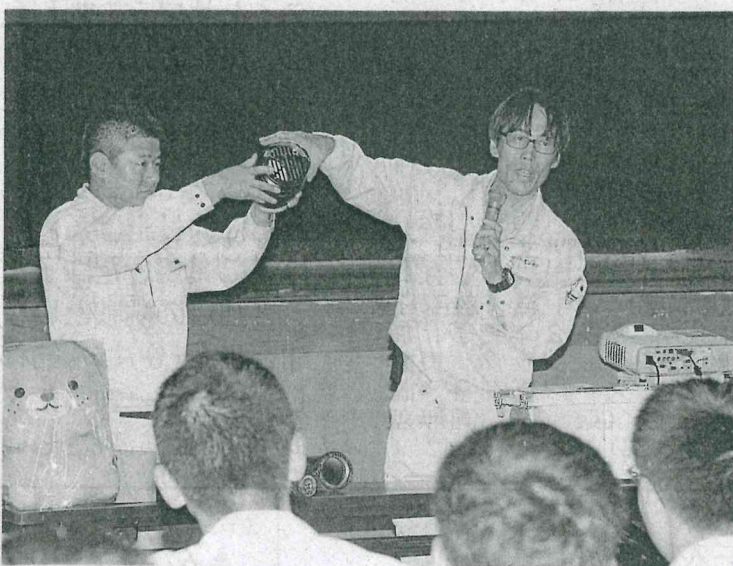


平成 29 年 10 月 30 日 (月) 愛媛新聞

排水の仕事 奥深さ語る

県空調衛生協会 八幡浜工高で出前授業



排水設備の機能を説明する谷口社長(右)

将来の職業選択の幅を
広げてもらおうと、
県空調衛生設備業協会
(土居仁会長、46社)
は27日、八幡浜市古町

2丁目の八幡浜工業高
校で出前授業を行い、
1年生約80人に排水設
備の奥深さを伝えた。
排水設備や浄化槽の

工事・管理を手掛ける
谷口水道工業所(八幡
浜市)の谷口元康社長
(50)が、一定量の水を
ためて悪臭や排水の逆

流を防ぐために台所や洗面所などからの排水管に備わる「排水トラップ」という装置の役割などを説明。「排水設備は衛生を保ち快適に暮らすために必要。この仕事に興味を持ってほしい」と呼び掛けた。

電気技術科の北野稜也さん(15)は「身近にある排水管にいろいろな工夫がされていると知り勉強になった」と話していた。

出前授業は2010年度から県内の工業系高校で年1回開催している。
(菅亮輔)